

相模原市予算 要望書

12 二級河川境川の改修【継続】

県土整備局 河川下水道部 河川課

【要望事項】

二級河川境川について、本市の下水道整備計画との整合を図り、時間降雨51mmに対応する改修整備を早期に行うこと。

【要望の説明】

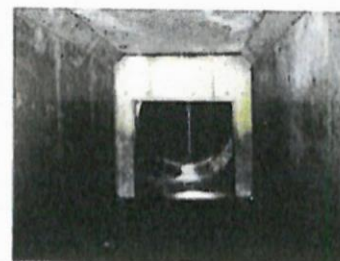
本市では、下水道整備計画に基づき、計画降雨を時間51mm（5年確率）として浸水被害の解消に向けた雨水管の整備に取り組んでいます。

境川では、根岸橋から上流を神奈川県管理、下流を東京都管理として整備が進められてきましたが、東京都管理区間は概ね50mm対応で整備が完了しています。

しかしながら、雨水の放流先となっている神奈川県管理区間については、河口の一部を除き時間降雨30mm対応の整備となっており、雨水の流出が抑制されていることから、流出できない雨水が道路側溝等から溢れ出て浸水被害が発生する危険性が高まっています。

このため、県においては「境川水系河川整備計画」に基づき、早期に計画的な整備を進めるよう要望します。

境川への放流吐け口

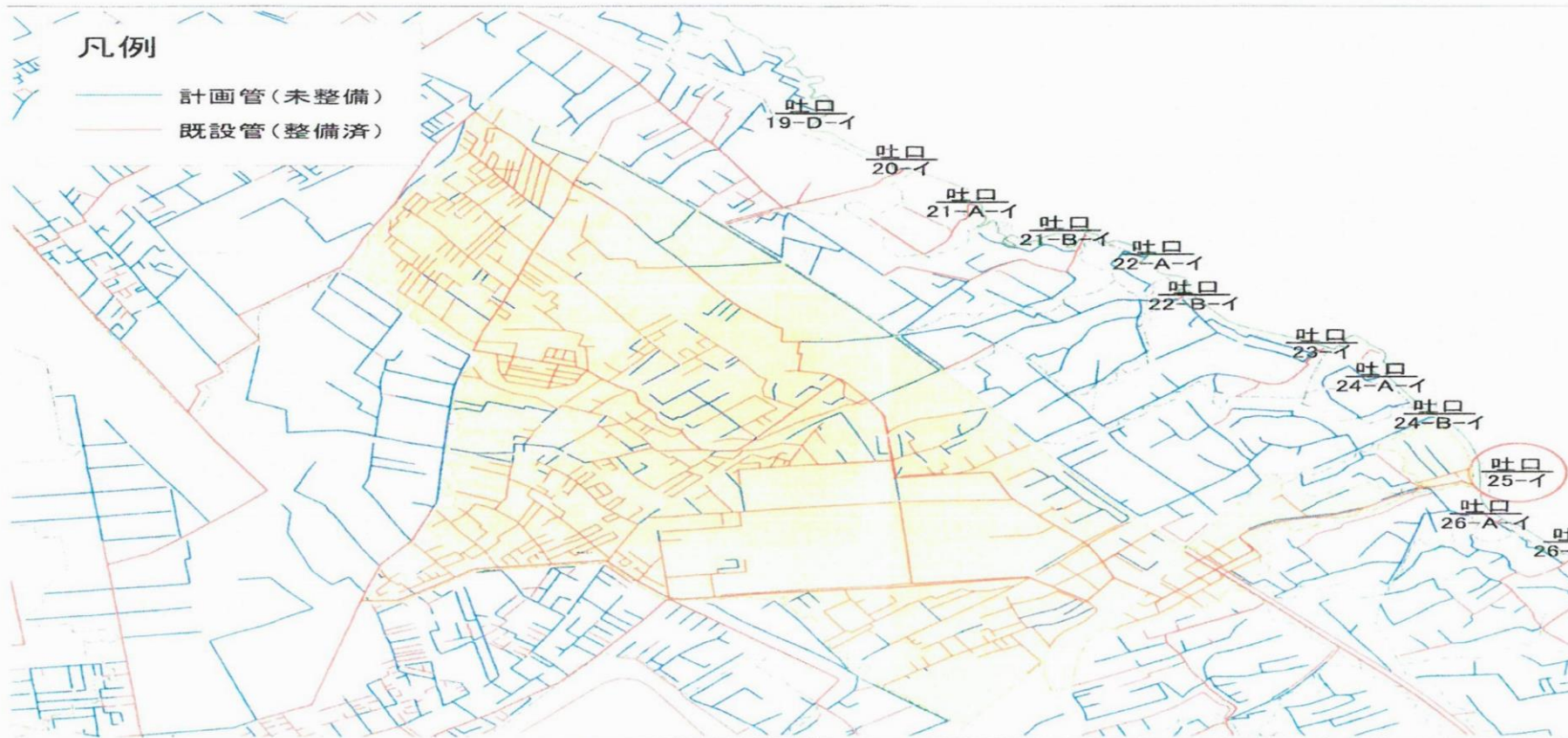


【要望の担当】

都市建設局下水道部下水道経営課長 岩部 正志 TEL042-707-1890

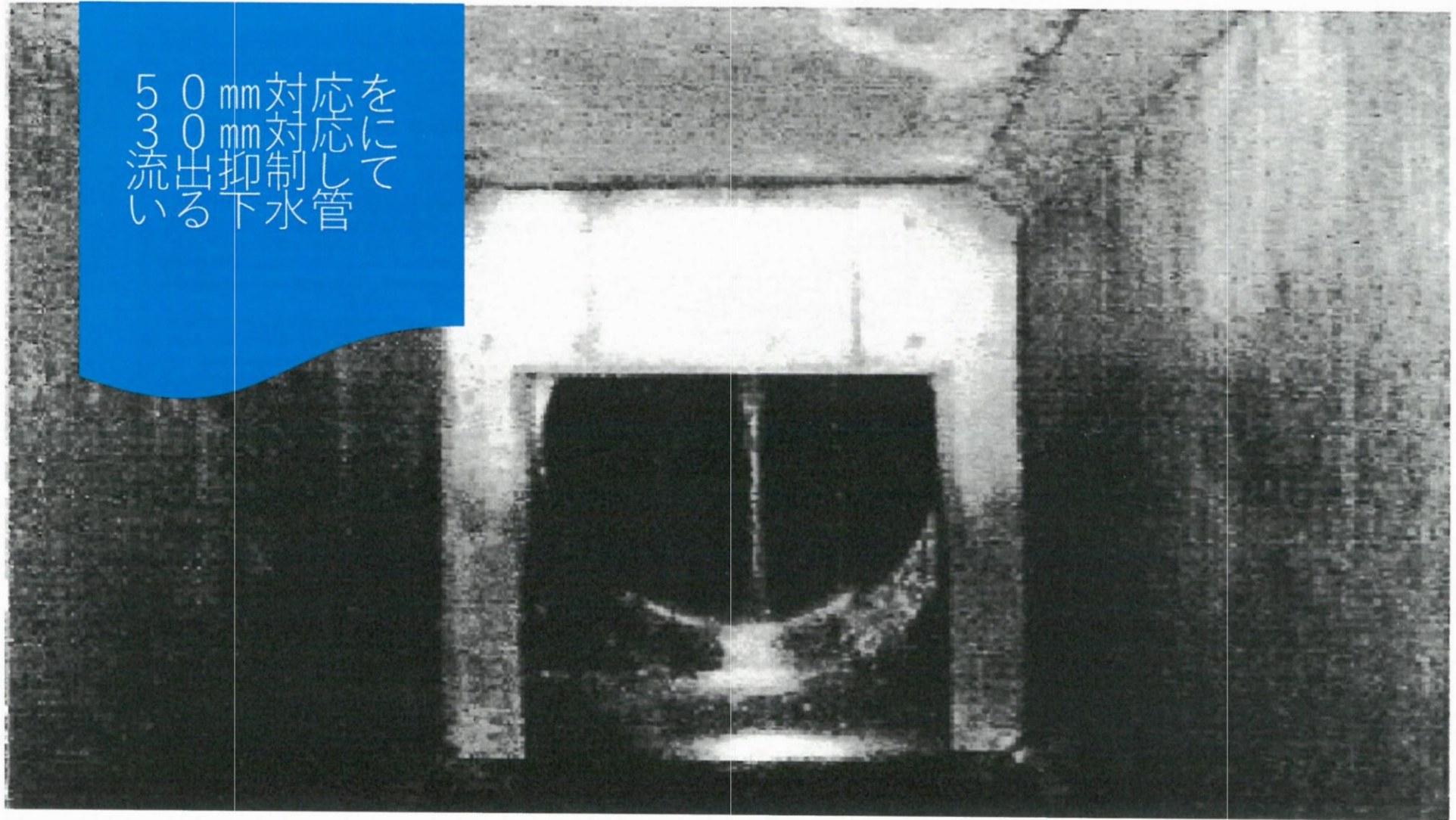
【揭示資料1】

相模原市下水道整備状況



【揭示資料2】

をにて
応心し管
対対制水
mm抑下
0mm出る
53流い



【揭示資料3】



——東京都ホームページから——

境川水系河川整備計画（原案）への関係住民からの意見と対応

番号	意見提案	基本的な考え方
5	毎年の台風のために境川の被害発生におびえています。早急に河道、洪水調節施設の整備をしてほしい。	東京都管理区間はこれまで時間雨量 50 ミリに対応した護岸整備をほぼ完了しておりますが、下流の神奈川県管理区間の整備が進んでいないため、川底を掘り下げることが出来ず、時間雨量 30 ミリ程度の能力に留まっています。
6	下流の整備が進まない中、中流である東京都区間だけ治水能力をアップしても、意味がないと思う。また、下流の整備が完成しない間だけ、調節池が必要なのではないかと感じている。下流のために、東京都の土地に調節池を設置してほしい。	このため、下流の県管理区間の河道整備が時間を要することを考慮し、新たな整備水準の時間雨量概ね 65 ミリに対応した調節池を先行して整備することにより、その分、調節池下流の安全度が高まるうえ、調節池の能力に合わせて、調節池の上流側の河川を掘り下げることが可能となり、早期に治水安全度を向上させることができます。
7	下流の整備をまず優先すべきであり、東京都区間の整備の検討は、下流の整備後に行うべきだと思う。下流のために、東京都の土地にお金をかけて、調節池を設置してほしい。	河道整備に先行して設置する調節池は、新たな整備水準の時間雨量概ね 65 ミリに対応するために必要なものであり、調節池を先行整備しても将来無駄な施設にはなりません。
8	下流の整備が進まないために、東京都の土地に調節池を設置してほしい。調節池をつくることで、カワセミが犠牲になってしまう。まずは、下流の整備に注力してほしい。	また、調節池の整備は、生態系にも十分配慮して整備を行います。 なお、神奈川県の整備については、東京都からも整備促進について、これまで働きかけを行っており、今後も継続的に働きかけを行います。



老朽化した笹山団地

【揭示資料5】



笹山団地 屋内

【揭示資料6】

売買契約が
締結された
水源協定林

1:5,000

凡例

H26-協-16

解約地

契約継続地

0 50 100 200 300 400

【揭示資料 7】



米海軍厚木基地 銃体験

【揭示資料 8】